

令和2年度 シラバス

愛媛県立津島高等学校

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	2	学年	3	類型	カレッジコース
教科書	東京書籍 政治・経済			副教材	愛媛県高等学校教育研究会公民部門編 2020 政治経済ワークブック				

学期	月	単元名	指導項目、内容	評価の観点				学習のねらい・学習の目標・評価の観点			
				①	②	③	④	学習のねらい			
1 学期	4	第1章 民主政治の基本原則	第1節 民主政治の基本原則	1 民主政治の成立		◎	○	1 学期は政治のしくみを理解し、現代政治の諸課題についてさまざまな観点から探求し、時事的な学習目標を切り口に、政治に対する興味・関心を高めます。 2 学期は経済のしくみを理解し、現代経済の諸課題についてさまざまな観点から探求し、時事的な学習目標を切り口に、経済に対する興味・関心を高めます。 3 学期は資料の収集法や活用の仕方、レポートのまとめ方、学び方(スキル)を身に付け、政治・経済について多角的な視点から考察させます。 最後に政治・経済と自己との関わりに注目させ、いかに生きるかを主体的に考えさせます。			
				2 基本的人権の確立					○	◎	
	5	第2節 日本国憲法の基本原則	3 現代の民主政治 4 世界の主な政治制度	1 日本国憲法の制定と基本原則			◎		○		
			2 基本的人権の保障 3 平和主義				○		◎		
			第3節 日本の政治機構	1 国会と立法 2 内閣と行政			◎		○		
	6	第4節 現代政治の特質と課題	3 裁判所と司法 4 地方自治	1 戦後政治と政党			◎		○		
			2 選挙と政治意識 3 世論と政治参加				◎		○		
7	第5節 現代の国際政治	1 国際政治の特質 2 国際社会の役割と課題				◎	○				
		期末考査	3 国際連合の役割と課題 4 戦後国際関係の展開と日本四国		○	○	◎	◎			
2 学期	8	第2章 現代の経済	第1節 現代の資本主義経済	1 資本主義体制の成立 2 資本主義経済の発展と変容		○		◎	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解すると共に、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てます。 ① 関心・意欲・態度 政治や経済に興味や関心を持ち、自ら課題を発見したり自ら課題と関わろうとすることができるか。 ② 思考・表現・判断 社会事象を多面的・多角的に捉え、他の事象と比較・検討し関連を考察して、それをノート、学習プリント、発表資料、レポートなどに記述できるか。 ③ 資料活用の技能・表現 必要に応じて多様な情報を活用し、追求活動に有用な資料を選択、収集することができるか。資料の持つ特性を踏まえて的確に情報を活用することができるか。 ④ 知識・理解 学習した内容を理解し、知識を身につけているか。小テスト・定期テストの知識・理解に関する設問ができるか。		
				第2節 現代経済のしくみ	1 経済主体と経済の循環 2 生産のしくみと企業					◎	○
	9	第3節 日本経済の発展と産業構造の変化	3 市場経済の機能と限界					◎		○	
			4 国民所得と経済成長				○			◎	
			5 金融のしくみと機能	中間考査	○	○	○	◎			
	10	第3節 日本経済の発展と産業構造の変化	6 財政のしくみと機能	1 経済再建から高度成長へ 2 オイル・ショック後の日本経済				◎		○	
			3 日本経済の現状			○				◎	
	11	第4節 福祉社会と日本経済の課題	1 公害と環境保全					○		◎	
			2 消費者問題 3 農業・食糧問題							○	◎
			4 中小企業の現状と課題			○				◎	
12	第5節 国民経済と国際経済	5 雇用と労働問題	期末考査	○	○	○	◎				
		6 社会保障と福祉					○	◎			
3 学期	1	第3章 現代社会の諸課題	第1節 日本社会の諸課題	1 貿易と国際収支			○		◎		
				3 発展途上の経済			○		◎		
	2	第1節 日本社会の諸課題	2 国際経済体制の展開 3 発展途上の経済			◎	○				
			1 少子高齢社会において社会保障どうあるべきか？ ④ 地域社会			◎	○				
			学年末考査			○	○	○	◎		
			家庭学習								
3	第1節 日本社会の諸課題	家庭学習									
		備考									

※評価の観点 ①：関心・意欲・態度 ②：思考・判断・表現 ③：資料活用の技能・表現 ④：知識・理解

◆学習方法のポイント

【政治・経済を勉強するときに】

- 世界で起こっている様々な出来事に興味・関心を持ちましょう。
- 異文化理解に必要な知識や能力を身につけましょう。
- 時事問題を読み解く力を身につけましょう。
- 継続して取り組む意欲や態度を養いましょう。
- 今、起こっている諸事象に目を向けましょう。
- 雑念を払い集中して考える力を身につけましょう。
- 家に帰っても本や新聞を読みましょう。

【授業】

- 週に2時間の授業があります。
- 1つの単元の授業の流れは、次のようになります。
 - ①教科書をよく読みます。
 - ②出てくる基本的用語について、その意味を確認します。
 - ③各単元のテーマについて理解します。
 - ④ノートを用いて内容を確認します。
- ノートは、板書に加えて口頭で示された重要ポイントも記し、工夫された「自分のノート」を作りましょう。
- 統計資料や表・グラフを読み解く力を身につけるために、作業学習も行います。
- ワークブックを用いて復習を行います。
- 授業開始の1分前には着席をして、教科書・ノート等の授業準備をするように習慣づけてください。
- 常に「なぜ？」という問題意識を持ち、探求的な態度で取り組みましょう。

【家庭学習】

- 新聞やテレビのニュースなどに関心を持ち、広い視野で多角的に物事を見るように心掛けましょう。
- 分からない漢字や用語は辞書で調べましょう。
- 日頃から本を読んで、文章を読み、書いてあることを理解する力を身につけましょう。

【定期考査】

- 教科書・ノートを読み直し、授業内容を確認しましょう。
- ワークブックを利用して模擬問題を解く練習をしましょう。
- 基本的な用語はその意味を把握し、正確に書けるように訓練しましょう。
- 特に漢字は正確に書くことを心掛けましょう。

◆評価の方法、規準

評価の方法	定期考査、授業への出席状況および学習意欲、課題提出とその内容、ノートの整理状況を ①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③資料活用の技能・表現 ④知識・理解の四つの 観点から評価します。ただし、定期考査を重視します。	
評価の規準	1 学期	単元テスト、期末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)
	2 学期	中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)
	3 学期	学年末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況および学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均